

いたからには、上限額を制限するのは、

(手紙文化研究者、イラストも)

管九筆か
いってきた。
拓」社長)

(佐藤仙務)「仙

あすの紙面

東日本大震災9年

被災地発「会計かるた」

東日本大震災の被災地に毎月通い、中小企業の経営相談に乗っている名古屋市千種区の公認会計士、山田英裕さん(四巴)が、会計の基礎知識を楽しく学べるかるたを作った。被災地で企業の再建に取り組む中で、会計や財務の知識が復興を強く後押しすることを実感。会計の堅苦しく、難しいイメージを変えようと、一昨年、岩手県陸前高田市に会社を立ち上げ、準備してきた。地元の金融機関などの融資を受け、二月から全国販売している。(吉田瑠里)

名古屋の支援者発案



楽しみながら会計用語を学べる勘定絵科目かるた

専門用語楽しく「企業再建知識が力」

「買って売り 手許に戻って また買って 商い回す 現金預金」「売る相手 信じ て許す ツケ払い 入金待ち の 売掛金よ」

の専門用語が題材。主な百用語を選び、五・七・五・七・七で説明している。その一つ、「研究開発費」

は企業が新しい技術や製品を生み出すお金で、将来性を見るヒントに。「給与手当」を

同社の津田勇輝さん(三三)によると、震災当時はNPO法人で、再建に向けて株式会社

山田さんが作った「勘定絵科目かるた」の読み札。会計用語の「現金預金」と「売掛金」を短歌風に説明し、絵札にイメージが描かれている。

勘定絵科目かるたは、決算書や帳簿付けなどの基礎で、「勘定科目」と呼ばれる会計

勘定絵科目かるたは、決算書が読めると、会社の現状や問題が見え、対策も分かる

「以前から会計の面白さを

「あんしん生活」の前で話す山田さん(右)と、同社の津田さん(左)岩手県陸前高田市で(山田さん提供)



「勘定科目」と呼ばれる会計

勘定絵科目かるたは、決算書が読めると、会社の現状や問題が見え、対策も分かる

「以前から会計の面白さを

「以前から会計の面白さを

「僕...」「そ...」「一...」「暑...」「よ...」「イ...」「じ...」「く...」「な...」「ん...」「僕...」「頃...」「し...」「よ...」「僕...」「の...」「ま...」「に...」「い...」「こ...」「ア...